

氏 名	高 橋 純 子
学位の種類	修 士 (看護学)
学位記番号	修 士 第 1 1 3 号
学位授与年月日	平成 2 1 年 3 月 2 5 日
学位論文題目	透析業務に従事する看護師の自律性と患者のQ O L に関する研究

論文内容要旨

※整理番号	117	(ふりがな) 氏名	たかはし じゅんこ 高橋 純子
修士論文題目	透析業務に従事する看護師の自律性と患者の QOL に関する研究		
<p>目的 透析室に従事する看護師の自律性および透析患者の健康関連 QOL (HRQOL) の実態調査を行い、透析室に従事する看護師の自律性と透析患者の健康関連 QOL(HRQOL)の関係について調査・探索することにより透析室看護の独自機能を見出す。</p> <p>方法 京都府と滋賀県にある病院・診療所を無作為に抽出し、血液透析療法を受けている患者および透析室に従事する看護師を対象に質問紙による調査を実施した。調査項目は、患者には個人属性、治療データ(体重増加率、BUN、Kt/V)の収集および KDQOL-SF を使用し、QOL を測定した。看護師は、個人属性、看護介入に対する自己評価(透析技術、自己啓発、患者教育、家族支援、他職種との連携)、および日本版 Pankratz Nursing Questionnaire を使用し、専門職的自律性の測定を行った。収集データは、基本統計量、分散分析、多重比較、相関、重回帰分析をエクセル統計 2008 にて行い、検討した。</p> <p>結果 透析室に従事する看護独特の機能は、他職種との連携がとれるということであり、高齢化が進む透析患者のソーシャルサポートの確立に看護師のコンサルテーション能力は他職種にはないもので、透析室で唯一その能力を発揮できるということが示唆された。</p> <p>考察 透析室の看護師は、「他職種との関わりを保ち、患者のソーシャルサポートを構築する」という重要な役割を遂行する必要がある、本研究においても看護独自の機能であると示唆された。看護師は日々の啓発努力を怠らず、地位を確立していかなければならない。また、透析室の職場環境、特に看護師の人員配置に看護師の自律性は影響を受けることも明確となり、単に透析室だけでなく病院組織に大きく興味をもち、医療情勢にも敏感になることが必要である。医療情勢の変化に気づき、何をすべきなのかを現場の人間から発信していくことが必要であると考え。</p> <p>総括 1. 患者の KDQOL-SF スコアリングの結果、「腎疾患による負担」「社会生活機能」「日常役割機能(精神)」「心の健康」が脆弱し、看護師はこの脆弱している部分を理解し補う必要がある。 2. 透析室には新人看護師が配置されにくい、新人看護師の自律性は高いものであった。限られた人数配置に新人看護師にかかる重圧が大きいのではないかと示唆された。 3. 看護師の自律性と患者 QOL において、「日常役割機能(精神)」は専門職的自律性の全ての下位尺度に強い相関関係を認めた。看護師の自律性は、患者の仕事や活動に対しての心理的な側面に影響するという知見が得られた。 4. 透析室に従事する看護師の自律性は、透析室における看護師の配置人数が充足されれば高くなるという示唆を得た。また、看護師に代わる他の医療職種を配置させると、患者 QOL にも影響するという知見も得られた。 5. 透析室に従事する看護師の独自の機能は、他職種との連携がとれるということであり、患者のソーシャルサポートの確立に看護師のコンサルテーション能力は他職種にはないものであり、透析室で唯一その能力を発揮できるという示唆を得た。</p>			

(備考) 1. 研究の目的・方法・結果・考察・総括の順に記載すること。(1200 字程度)

2. ※印の欄には記入しないこと。